



ルノー橋から見たエントランス外観

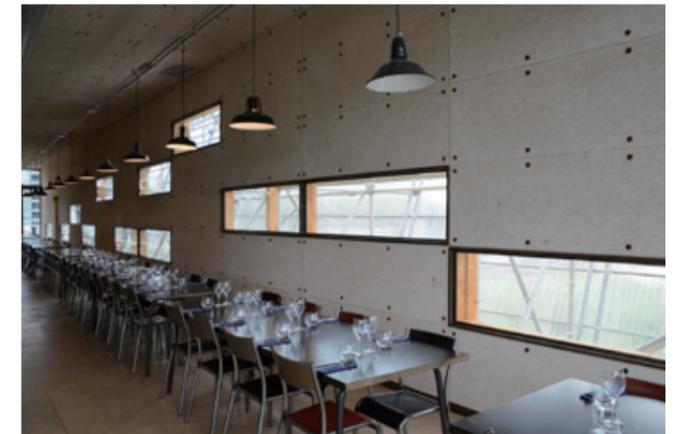
パリ中心部を流れるセーヌ川が、南下して右に大きく蛇行しているブローニュ・ビヤンクール地区にセガン島という、約12haの中洲がある。かつては自動車メーカー、ルノー社の工場があったところで、1989年の閉鎖にともないグランパリの再開発が進み、2010年に2ha分の庭園が市民に公開された。レストランLES GRANDES TABLESはルノー橋を渡った正面に位置し、遠くから見ると2階建ての温室のよ

うに見える。コンテナや建設用資材をリサイクルして建てた300㎡の建造物で、タテにしたコンテナ内にエレベーターを設置し2階へアクセスしている。3年間という期間限定の営業であるため、店内はシンプルにデザインされている。南仏、バスク地方の契約農家から直送される野菜をメインにした、オーガニックなメニューが人気を得ている。「フランス料理だと肉と野菜の比が7

対3というのが定番だが、ここでは逆で3対7ぐらい。季節もので入荷不足の時など、ちよくちよくメニューを変えなければなりません」とコックのGuillaume Ramirezさんは語る。建築家ジャン・ヌーベルのプランで進行しているこのプロジェクトは2017年、トータル4haのカルチャー庭園として完成される予定だ。



左/コンテナを縦に利用したエレベーター 右/建設用足場とコンテナをタテとヨコに組んだ建物は温室のように見える



上/客席から外に設置したバルコニーを見る。パーティーやイベントに利用できる 中/採光を抑え横長にバランス良くデザインされた窓 下/ラフに仕上げたバーカウンター

LES GRANDES TABLES

Address : Les Jardins de l'île Seguin,
92100 Boulogne-Billancourt
France (Paris)
Phone : 146 107 972
Design : 1024 Architecture
Opening date : October 2011
Seating Capacity : 120
Area : 300 m²